

ゴーヘッドズ 速報

Goaheads

第34号 平成21年10月18日

達脇相手バットを折るも、完全試合逸す・・・

チーム一丸で悲願の1勝!!!

	1	2	3	4	5	6	7		R
M	0	0	0						0
G	2	9	x						11



10/18(日)今日は区民秋季大会の1回戦、過去区民大会にエントリーしているものの、未だ実力での勝利が無い我がチームとしては、是が非でも悲願の1勝をゲットしたい、今日のこのゲームであった。天候もグラウンドも良い状態で始まった今日のゲームは後攻、この大事なマウンドを託されたのは、前回復活完封試合を決めた達脇である。初球はストレートでストライクを取るものの、2球続けてボール、バッティングカウントの4球目はストライク、しかし、続く2球をボールとし、先頭打者を歩かず嫌な幕開けとなった。その後2番打者の2球目に2盗を決められ、早くもスコアリングポジションにランナーが。2番打者の二ゴロの間に2塁ランナーは3塁へ進塁、早くも先制点を献上するかと思われた矢先、3番を3球三振、4番を3球で、遊飛に打ち取り、初回をクリアした。振り返ってみれば、区民大会のローカルルールで有るが、ノーヒット・ノーランを達成した達脇、先頭打者に与えた四球が無ければ、大記録の完全試合達成であった。我がチームの打線は相手投手の9個の四死球と要所で安打を絡め、チーム打率5割の脅威的数字を残し、圧勝した。特に2回においては、打者一巡+の15人で攻め立て、9点をゲット、この2つの行為は、恐らくチーム初の記録と思う。エラーも無く、我がチームは締まった内容であったが、グラウンドに立たないものも率先して、今自分が出来る事を精一杯行った姿は、非常に感銘深いものである。それ故、一昔前の助っ人探しがうそのような今のチーム事情、参加人数が多い時は、どんどんダブルを組んでグラウンドに立つ機会を世話役として、考えるが、メンバーもグラウンドに立つには！を考え、野球に取り組んでくれたら、と思う。

熾烈なポジション争いという表現をしたら、キャプテンから表現を違う、と指された。人数がポジションを競っている現状、メンバー一人一人が、やるからには、という気持ちで頑張れば、自ずとして、チームは底上げされるはず。そうすれば、チームの層は人数だけでなく、戦力的にも上がるでしょう！

今日は気持ち良いゲームを終えたが、勝って兜の緒を締めよう！区民大会2回戦突破を目指して・・・

それにしても、やっと梶にいい当たりが出たね。盗塁は技術だね、よし！達ちゃんナイスラン、皆に勇気を与えました！さー上昇気流に乗ってくぜ！